



さまざまな考えをまとめるためには、出てきた意見を付箋ふせんなどに書き出し、抽象ちゅうしょう的か具体的ななどで分類したり、共通点や相違点を見つけて整理したりすることが効果的です。



話し合いではいろいろな考えが出てきますが、目的に応じてそれらの考えを整理してまとめることが求められます。話し合いの内容や展開を捉えながら、さまざまな考えをまとめましょう。



考えをまとめる



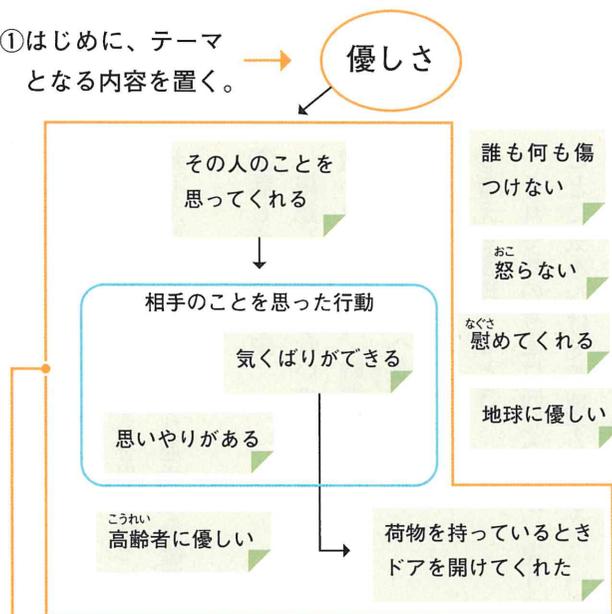
発言を結びつけて話し合う

話題

話し合いの進め方

考えの形成・共有

①はじめに、テーマとなる内容を置く。



②テーマから連想した内容を、「大きなまとまりを示す抽象的なもの」から「具体的なもの」へと分類して整理する。

■考えを整理する方法
話し合い『優しさ』の定義について

目標

- 話し合う目的や、どのような順序で話し合うかを確認する。
- 互いの意見を結びつけて整理しながら話し合い、自分の感想や考えをまとめる。



学習活動の流れ

話題

- 1 「……とはどういうことか」という形で、テーマを設定する。
- 2 テーマについて、自分の考えや根拠こんぎょとなる事例をできるだけたくさんあげておく。

話し合いの進め方

- 2
 - ①話し合いの進め方について確認する。
 - ②それぞれが考えたことを付箋に書き出し、全員が見られるように並べる。
 - ③意味や内容の関連に注意しながら付箋を移動させてまとめ、見出し語を考える。

考えの形成・共有

- 3
 - ①テーマについてグループとしての結論を出す。
 - ②各グループで出された結論をクラス全体で共有する。
 - ③話し合いの進め方について振り返る。



話し合いのポイント

- ①話し合いを始めるとき
まず、それぞれの考えを出し合って、それを整理して結論を出すという進め方を確認する。
- ②話し合いの最中
確認した話し合いの進め方のうち、今はどの段階かを意識する。時間や話し合いの内容しだいで、司会うながは次の段階へ促す。
- ③考えを整理するとき
それぞれの考えは同じなのか、違うのかということに気をつけて整理する。また、「気くばりができる」と「思いやりがある」は、「相手のことを思った行動」にまとめられるかどうかなどについても考えながら整理する。
- ④話し合いを終えるとき
テーマに対する結論をグループ全員で確認する。



……という点で同じです。(違いますが)(共通点・相違点)



学びを生かす

学級目標や行事のスローガンを決める話し合いに役立てよう。



「優しさ」の定義について

司会 ① 今回のテーマは「優しさ」の定義です。まずは、それぞれで考えたことを出して、次に、それらを整理して考えをまとめたいと思います。それがよろしいでしょうか。

(中略 それぞれが付箋に考えを書き出す。)

ナツ ② 「アキさんがドアを開けてくれた」というのは、「気くばりができる」ということだと思います。

フユ 確かにそうですね。それは「思いやりがある」ということでもあるように思います。

ハル 「気くばり」と「思いやり」は、どちらが見出し語になるだろう。

アキ 「気くばり」も「思いやり」も「相手のことを思った行動」という点で同じです。だからそれが見出し語になると思います。

司会 ③ それで見出し語になりそうですね。次に、他の付箋を見ると「相手のことを思った行動」以外の見出し語がつけられそうなので考えてみましょう。

(中略)

④ 意見が出つくしたようです。そろそろ時間にもなるので、まとめたいと思います。私たちのグループの結論は……(以下略)

振り返り

話し合いの各段階で、進め方を確認しているか。

出された意見を整理し、自分の感想や考えをまとめているか。

- ① 話し合いの進め方を確認している。
- ② 他の人の発言と自分の発言を結びつけ、同じ内容であることを確かめながら、意見を整理している。
- ③ 話し合いの内容を踏まえ、次の展開を促している。
- ④ 結論を確認している。